



楽しいプール 感染予防にも気を付けて！

令和2年8月5日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和2年第31週分・7月27日～8月2日)

《インフォメーション》

●プールと感染症

8月に入りプールの利用が多い季節となりました。プール（ビニールプールなどの簡易プールを含む）を利用する際には、遊具や人との接触を介して、右表に示した病気に感染するおそれがあります。咽頭結膜熱・手足口病・ヘルパンギーナは小児科定点報告疾患として、流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎は眼科定点報告疾患として、感染症発生動向調査の対象となっています。今年はまだ、県内におけるこれらの感染症の報告数は少数例で推移していますが、今後増加する可能性があります。

プールの中だけでなく、プールサイドや脱衣所、トイレにおいてもタオルの共用や不十分な手洗いにより感染が広がるので注意しましょう。

プールの管理者は、塩素濃度の確認などプール水の衛生状態に気をつけ、シャワーなどの付帯設備を定期的に点検し、支障がないことを確認しましょう。また、脱衣所は空気がこもりやすく、新型コロナウイルスの感染を防ぐためにも換気を良くすることが大切です。

保育所、幼稚園、家庭では、簡易プールで水浴びをすることがあると思います。簡易プールは塩素管理が難しいので、利用の都度水を入れ替えましょう。また、遊具を清潔に保ちましょう。

利用者は次のことに注意しましょう。

- ▶ 発熱や下痢など、体調不良の時はプールを利用しないようにしましょう。
- ▶ 消毒用塩素は、水中に汚れがあると消毒効果が落ちます。プールに汚れを持ち込まないために、プールに入る前やトイレの後は、手洗いおよびシャワーで十分に体を洗いましょう。
- ▶ 乳幼児を連れた保護者は、お子さんを定期的にトイレに連れて行きましょう。
- ▶ タオル、クシ、ブラシの共用はやめましょう。

《全数報告の感染症》

指定感染症 新型コロナウイルス感染症 9件 (①10歳代、女性 ②～⑤全て20歳代、男性 ⑥⑦共に20歳代、女性 ⑧40歳代、男性 ⑨50歳代、男性)

二類感染症 結核 2件 (①第30週診断分：60歳代、男性 ②80歳代、女性)

四類感染症 レジオネラ症 5件 (①～③全て第30週診断分 ①50歳代、男性 ②70歳代、男性 ③80歳代、女性 ④50歳代、男性 ⑤70歳代、男性 ①～⑤全て肺炎型)

五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (第30週診断分：40歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	3.97 (↑)	3.31
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.69 (↓)	1.21
3位	突発性発しん	0.34 (↓)	0.66
4位	咽頭結膜熱	0.31 (↑)	0.07
5位	マイコプラズマ肺炎	0.20 (↓)	0.40
6位	手足口病	0.14 (↑)	0.00

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

プールを利用することで感染するおそれがある主な病気
咽頭結膜熱(プール熱)
手足口病
ヘルパンギーナ
流行性角結膜炎(はやり目)
急性出血性結膜炎
伝染性軟属腫(水いぼ)
伝染性膿痂疹(とびひ)
腸管出血性大腸菌感染症(O157など)
アタマジラミ症

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第31週 令和2年7月27日～令和2年8月2日）

分類	疾患	今週報告分（第31週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
指定感染症	新型コロナウイルス感染症		1	2	1	5	9	6	6	24	8	200	244
二類感染症	結核					1	1	8	2	21	8	26	65
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									6		8	14
四類感染症	E型肝炎							2					2
	A型肝炎							9				1	10
	デング熱											1	1
	レジオネラ症			1		1	2	1		10	1	11	23
五類感染症	アメーバ赤痢										1	2	3
	ウイルス性肝炎											1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							1		3	1	3	8
	急性脳炎							2				1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		4	6
	後天性免疫不全症候群											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		2		5	9
	水痘（入院例）							1	2	2		2	7
	梅毒							2		3		10	15
	破傷風											2	2
	百日咳											24	26
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							625	290	892	567	1,190
RSウイルス感染症								2	5	26	4	36	73
咽頭結膜熱		4		4		1	9	73	56	98	8	73	308
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	3	12	2	1	20	111	175	1,110	166	1,309	2,871
感染性胃腸炎		20	18	17	3	57	115	775	444	564	244	1,633	3,660
水痘				2		1	3	29	30	54	16	93	222
手足口病				1	1	2	4	18	1	17	6	44	86
伝染性紅斑								9	26	30		162	227
突発性発しん		1		5	1	3	10	22	19	125	43	102	311
ヘルパンギーナ		1					1	48		10	2	5	65
流行性耳下腺炎			2				2		5	5	4	12	26
流行性角結膜炎			0.67				0.07			5	8	2	15
細菌性髄膜炎										1			1
無菌性髄膜炎								1			1	5	7
マイコプラズマ肺炎				1			1	1	7	18	16	9	51
感染性胃腸炎（ロタウイルス）				1.00			0.20			2	2		4
インフルエンザによる入院患者（*）								42	5	28	74	53	202

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。